



福井県 永平寺町

議会だより

第45号

平成29年1月27日発行



かんぱる団体

成年女子
「福井フェニックス」
(※ 最終ページに紹介記事)

後列左から 中古澄枝さん(吉波)、藤尾かおり監督(松岡薬師)、宇野かなさん(松岡小畑)、
前列左から 角谷夏子さん(松岡吉野塚)、石黒めぐさん(松岡松ヶ原)



- 2 新年議長挨拶
- 3 委員会主義か本会議主義か
- 7 そこが聞きたい! 議員16人が一般質問
- 18 議会と語ろう会 質問への回答

【ダイジェスト版】

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会 検索

委員会主義か本会議主義か ～ 通年会期制も協議 ～

議会行財政改革特別委員会 委員長 滝波登喜男

議会では、次の改選時に議員定数を4人削減し14人とすることを決め、議会運営をスムーズに移行させるための仕組みづくりを調査研究しています。全国的にも町村議会議員定数は減り続け、それに応じた議会改革が進められています。

その1つとして「委員会主義」を堅持するか「本会議主義」に変革するかであります。

「委員会主義」とは議員を2つ以上の委員会に分け、少人数で専門的に審議するもの。

「本会議主義」とは、委員会を廃止し、議員全員で全てを審議するもの。

当議会は、現在3つの委員会で審議する「委員会主義」をとっています。

2つ目は「通年会期制」を導入するかどうかです。

「通年会期制」とは議会の会期を1年間とし、その間何回でも本会議を開くことができるものです。現在は年4回（3・6・9・12月）の定例会と、緊急に行う臨時会を行っています。複雑多様化する行政事務に伴い、臨時会を多く開会している状況があります。「通年会期制」にすることで、町民のためになることを素早く審議し行えるようになります。（平成28年は臨時議会も含めて9回の本会議を開催）

今回これらのことを研究するため、滋賀県竜王町と徳島県勝浦町の両議会を視察しました。



滋賀県竜王町

人口12,000人で定数12人。2つの委員会（委員数6人）を中心に審議しています。議員は所属外の委員会にも「傍聴」という形で参加でき、積極的に意見を述べる事ができる仕組みを作っていました。

徳島県勝浦町

人口5,000人で定数10人。本会議を中心に全員で審議しています。3回の「読会制」により、議案説明および質疑、総括質疑、討論・採択と3段階に分ける仕組みを作っていました。また「通年会期制」を導入し、町民に開かれた議会を目指していました。



この視察で、少人数議会がその役割を十分に発揮するため全員で考え努力していることを学び、私たちも町民に信頼され、必要とされる議会をさらに目指さなければと痛感しました。



永平寺町議会議長

齋藤 則男

新年明けましておめでとうございます。みなさまには、健康で希望に満ちた初春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、皆様方のご支援により、議会活動に精励し、各種の福祉対策、地域の振興、町政の向上・充実に力を尽くすことが出来ましたことを、心から感謝し厚く御礼申し上げます。

内外の政治、経済、社会情勢は、まことに厳しいものがあり、大きな変革の時期に遭遇しております。少子高齢化、情報化の進行等、未だかつて経験したことのない新たな事態に日々直面し、まさに、行政の真価が問われている時代であります。

私たち、永平寺町議会といたしましても「開かれた議会」「行動する議会」「提案する議会」の3本柱を礎に、町民の代表として、その職責、職務を遂行するため、議会活動を、果たしていく所存であります。

町民の皆様が永平寺町を誇りとし、永平寺町に住む喜びを噛みしめることができるような、魅力あるまちづくりの実現を目指して、懸命に努力をしております。

より一層のご支援、ご声援を心からお願い申し上げます。あわせて本年がみなさまにとりまして、実り多い年でありますようお祈り申し上げます。

平成29年度 当初予算に反映を！ 事務事業評価意見書を提出

議会では平成27年および28年度上半期における実績324事業の内下記の15事業を抽出し、29年度予算に反映させるための事務事業評価を行いました。

評価方法は妥当性、効率性、有効性の項目および総合評価をA～Dの4段階で評価し、次年度の方向性を事業規範、予算面で意見するものです。行政から提出された「事務事業評価シート」の「特定健康診査事業費」「永寿苑施設管理諸経費」「子育てネットワークづくり事業」についての総合評価はAで「計画通り事業を進めることが適当」としたが、各議員が審査した議会の総合評価ではBとなり「改善が必要」とした。これらを「議会の評価意見書」として、3月定例会に「予算反映等改善書」で求めるものです。



議会評価意見 15事業

◆特定健康診査事業費

受診促進のため、がん検診との併設や集団検診のみならず、個別健診の方向性も方策である。受診率向上のためには、対象者の意識改善が必要のため、受診啓蒙や勧奨のみならず、集落や地区単位での健康に関する意識を変える取り組みや、保健師を中心とした町全体の活動（運動）が必要。

◆永寿苑施設管理諸経費

総合評価「B」はさらなる利用者増へ向けた施策が必要。利用者増のための施策が必要であり、地区をまたいでの活用方法の検討も行う。

◆子育てネットワークづくり事業

地域によって開催日数に差がないように考慮すべき。登録率が65%にとどまっていることは、大きな課題である。町内のすべての幼児の状況把握のために、行政が積極的にかかわるべき。

◆地域コミュニティバス運行事業

◆えちぜん鉄道利用推進事業

◆庁内ネットワーク事業

◆永平寺町住まいる定住応援事業

◆地籍調査事業

◆中山間地域総合整備事業

◆水産振興諸経費

◆観光まちなみ魅力アップ事業

◆一般道路改良事業

◆松岡公園維持管理諸経費

◆特別支援教育支援員配置事業

◆消防本部車両整備維持事業

平成28年 第7回臨時会報告

議長 齋藤 則男

平成28年第7回永平寺町議会臨時会は、11月4日に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第7回臨時会議案

議案第43号	平成27年度一般会計及び特別会計の決算認定	認 定
議案第44号	平成27年度上水道事業会計の資本剰余金処分及び決算認定	認 定

平成28年 第8回定例会報告

議長 齋藤 則男

平成28年第8回永平寺町議会定例会は、11月25日(金)から12月14日(水)まで20日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第8回定例会議案

議案第51号	平成28年度一般会計補正予算	可 決
議案第52号	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可 決
議案第53号	平成28年度介護保険特別会計補正予算	可 決
議案第54号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算	可 決
議案第55号	平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可 決
議案第56号	平成28年度上水道事業会計補正予算	可 決
議案第57号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	可 決
議案第58号	防災行政無線整備工事の請負変更契約締結	可 決

予算決算常任委員会審査報告

委員長 伊藤 博夫

一般会計12月補正予算

6,257万円

特別会計他補正予算

5,484万円

議案第51号「平成28年度一般会計補正予算」から議案第56号までの6件は当委員会に付託され質疑応答後、慎重に審議し採決を行った。全議案全員賛成にて可決した。主な内容は次の通りです。

【主な項目】

古民家周辺整備及び設置備品

(宿泊可能なセミナー・ゲストハウス周辺施設の整備と必要な備品)

715万円

臨時福祉給付金及びシステム改修委託料

(消費税率引き上げの延期に伴い、社会全体の所得の底上げに寄与するため、低所得者の安心感を確保するため2年半分を支給)

4,372万円

(国庫支出金3,747万円)

子ども医療費扶助

(子ども医療費の助成件数及び助成金額が増加し不足が見込まれるため)

516万円

(県支出金156万円)

町営住宅改修工事管理業務委託料及び改修費

(松原団地B棟改修工事(外壁・防水)と工事管理業務費)社会資本整備総合交付金

3,909万円

(国庫支出金1,955万円)

松岡小学校施設改修設計委託料

(松岡小学校南校舎棟の改修工事を実施するための設計業務委託料)

698万円

主な質疑応答

平成28年度一般会計補正予算

◆総合政策課

問 ゲストハウスの図面等を示してほしい。2千7百万円程かかるとのことだが今後の構想は。

答 現在概略図があるので全員協議会にて示す。

◆福祉保健課

問 やすらぎの郷の漏水に関して早く気付くべきだったのでは。

答 使用料の通知で漏水が分かったが、漏水箇所の確認に時間を要した。

◆建設課

問 今回の橋梁長寿命化計画に樋爪の歩道橋は入っているのか。

答 計画に含まれており今年度に改修を予定している。

◆学校教育課

問 松岡小学校南校舎の件で、今まで見過ごしてきた理由は。

平成28年度特別会計補正予算

問 介護保険の要介護支援の状況は。

答 要支援者の割合は減少しているが、介護認定3、4、5の割合は増加している。要介護認定全体としては、高齢化、重度化が進んでいる。

問 下水道事業会計の繰越金の額が大きい。基準等は。

答 一般会計からの繰り入れを年4回に分けて実施しているが、回数を増やし繰越金の額が大きくならないようにしたい。

平成28年 第9回臨時会報告

議長 齋藤 則男

平成28年第9回永平寺町議会臨時会は、12月20日に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第9回臨時会議案

議案第59号	平成28年度一般会計補正予算	可 決
議案第60号	永平寺町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定	可 決

一般会計補正予算審査報告

一般会計12月補正予算 **135万円**

第9回臨時会が開催され議案第59号「平成28年度一般会計補正予算」を慎重に審議し採決を行った結果、議員全員賛成にて可決した。

やすらぎの郷施設管理諸経費

(水洗小便所使用不能のためプッシュボタン式便器に取り換え)

24万円

保育園施設管理諸経費

(よしの園で新たに0歳児保育を実施するため未満児用トイレを設置)

45万円

上志比支所経費

(牧福島、栗住波地区の葬祭費補助金が当初予算より増加したため補正)

66万円

主な質疑応答 ◆上志比支所

問 現在永平寺町内において、各地区の火葬場はほとんど使用せず近隣の市で火葬しているのが現状ではないか、この2地域は合併以前の約定書により現在も継続しているようだが、他地区

との均等がとれていないのでは。

答 牧福島地区については昨年協議し平成32年度末での終了で合意しました。また栗住波地区については現在交渉中です。

12月定例会 一般質問 **そこが聞きたい!**

問&答

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

- 川治 孝行 … ⑦ 朝井征一郎 … ⑫
- 長岡千恵子 … ⑧ 金元 直栄 … ⑬
- 長谷川治人 … ⑧ 上田 誠 … ⑭
- 上坂 久則 … ⑨ 江守 勲 … ⑭
- 小畑 博 … ⑩ 川崎 直文 … ⑮
- 中村勘太郎 … ⑩ 奥野 正司 … ⑯
- 多田 憲治 … ⑪ 樂間 薫 … ⑯
- 酒井 要 … ⑫ 滝波登喜男 … ⑰

問 農家の担い手育成について



川治 孝行 議員

答 農家への施策と育成に努める

問 米の直接支払交付金と減反の撤廃に伴う今後の農業施策を問う。

農林課長 国・県と連携し今後の施策と農家育成に努める。

問 農業者とは、認定農業者や営農組合および個人農業者を含めた数値か。

農林課長 認定農業者、営農組織および個人農業者を含む数値。

問 担い手育成機械導入補助金は、現耕作面積の10%以上増やした時の補助だが、町内で10%以上増やす状況にあるか。

農林課長 10%増は可能であるが、地域性もあり再度精査し今後協力する。

問 鳥獣害防護柵は、地域間の防護柵の連続性が無いため、効果が無い。町は地域間の防護柵について考えているのか。

農林課長 地域間で話し合っていたり、また、地域間の防護柵の強化と資材等のコスト削減を行う事が農家の所得向上に繋がる町の指導を問う。

農林課長 意欲ある農家には支援指導する。また農業者、JAが所得向上やコスト削減に努めることが重要。

問 高齢化による、耕作放棄地が見られるが今後農業の担い手を「育てる・支える」仕組みを農家と共に行政も考えることが必要と思うか。

農林課長 農協が主体となつて農家育成を行うことが妥当と考えられる。また町は農協や関係機関と連携を図り農家育成に努めたい。

問 米の直接支払交付金と減反の撤廃に伴う今後の農業施策を問う。

農林課長 国・県と連携し今後の施策と農家育成に努める。

問 農業者とは、認定農業者や営農組合および個人農業者を含めた数値か。

農林課長 認定農業者、営農組織および個人農業者を含む数値。

問 担い手育成機械導入補助金は、現耕作面積の10%以上増やした時の補助だが、町内で10%以上増やす状況にあるか。

農林課長 10%増は可能であるが、地域性もあり再度精査し今後協力する。

問 鳥獣害防護柵は、地域間の防護柵の連続性が無いため、効果が無い。町は地域間の防護柵について考えているのか。

農林課長 地域間で話し合っていたり、また、地域間の防護柵の強化と資材等のコスト削減を行う事が農家の所得向上に繋がる町の指導を問う。

農林課長 意欲ある農家には支援指導する。また農業者、JAが所得向上やコスト削減に努めることが重要。

問 高齢化による、耕作放棄地が見られるが今後農業の担い手を「育てる・支える」仕組みを農家と共に行政も考えることが必要と思うか。

農林課長 農協が主体となつて農家育成を行うことが妥当と考えられる。また町は農協や関係機関と連携を図り農家育成に努めたい。



若手の担い手育成

【その他の質問】
「包括的連携協定について」

永平寺町一般職の職員に関する条例等の一部を改正する条例の制定を可決

総務常任委員会 委員長 中村勘太郎

本委員会は12月9日（金）に全委員出席のもと開催し、総務関係の今議会に提案付託された案件について慎重に審議した。

議案第57号

永平寺町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

本案の条例制定は、本年8月の人事院勧告を受け、本町の一般職及び特別職の給与について改正し、その内容について準拠する軽微な部分について、併せて改正を行うもの。軽微な部分の改正として、職員派遣に関する条文中の、寒冷地手当（平成26年度廃止）の文言が現在残っているため、削除を行う内容の改正条例の制定。

《主な意見》

県内で、寒冷地手当支給の市・町は大野市・勝山市・池田町

採決の結果、委員全員賛成により可決

陳情第3号

県民の利便性を最優先に、特

急「サンダーボード」「しらすぎ」の存続を求める意見書の採択について

本意見書の内容は、新幹線敦賀開業と同時に新幹線大阪延伸までの間、新幹線敦賀駅から在来線に乗り換えなければならぬ。県民が、新幹線を利用して敦賀駅で乗り換え、関西・中京方面へ行く場合、利用客の不便差を解消するため、現行の、特急「サンダーボード」「しらすぎ」を存続させる意見書内容となつており、これを確認。

委員会の意見では、北陸新幹線の延伸開業事業を最優先課題と捉えることが重要であり、現時点でルートが決定されておらず、鉄道利用者のため存続を求める内容となつてはいるが、それらの課題に伴う市・町の負担など附随する課題も見えていない現状を踏まえ、総務常任委員会において採決の結果、不採択1名、継続審査4名となつた。

採決の結果、継続審査とする

教員の働き方の改善を求めて

教育民生常任委員会 副委員長 金元 直栄

当委員会は12月9日4名の委員により開催され以下の案件が審議された。

付託案件

陳情第4号 教員の働き方の改善に関する意見書の提出について新聞報道の若狭の先生死亡記事が示された。先生の忙しさはよく聞いている。子どもを守るためには教員の働き方の改善は必要。などの意見が出され、全員一致で採択した。

時間外勤務手当支給の項は、長時間の仕事をなくすことに逆行するとして意見書からは外し提出した。

宅地開発推進事業における上志比地区宅地造成計画の現状

産業建設常任委員会 委員長 朝井征一郎

本委員会は12月12日に全委員出席のもと開催し、委員会の案件について協議した。

問 宅地開発推進事業における上志比地区宅地造成計画は。

総合政策課長 12月26日に調査設計を発注する。音、ホコリ等による影響を抑えるために造成地東側に緑地帯と公園を整備する。概算事業費は6700万円、9区画の予定。

問 認定農業者は特別なメリットがあるのか。

農林課長 畑対策（ゲタ対策）の補助として価格下落の9割補助、また町の担い手対象の各種支援事業補助金がある。

問 鳥獣害防護柵は、地域間の防護柵の連続性が無いため、効果が無い。町は地域間の防護柵について考えているのか。

農林課長 地域間で話し合っていたり、また、地域間の防護柵の強化と資材等のコスト削減を行う事が農家の所得向上に繋がる町の指導を問う。

農林課長 意欲ある農家には支援指導する。また農業者、JAが所得向上やコスト削減に努めることが重要。

問 高齢化による、耕作放棄地が見られるが今後農業の担い手を「育てる・支える」仕組みを農家と共に行政も考えることが必要と思うか。

農林課長 農協が主体となつて農家育成を行うことが妥当と考えられる。また町は農協や関係機関と連携を図り農家育成に努めたい。

その他

① 国保事業会計の慢性的な赤字体質改善の方向も30年からの県一本化を見据え県から示される国保税の基準待ち。

② 幼稚園・幼稚園施設長期保全・再生計画では、園舎の耐用年数を見据え、必要な整備や改装の年度を示すことで、子ども達が安心して遊べる施設としたなどの報告を受けた。

また「いじめ」の状況についても報告を受け、解決には保護者と共にオープンにして取り組んでいることが示された。

問 町の文化財、町民への明示は

答 日本遺産への エントリーを考えている



上坂 久則 議員

問 次年度の新規事業、目玉事業は。
財政課長 平成29年度予算編成方針を議会に示している。こういったことに気を付けて重点事項・施策等の予算編成をするよう各所管に伝えており、特に目玉事業等の設定はしていない。

問 門前地区の線刻磨崖仏などの文化財一覧表はあるのか。また町民への明示は。
教育長 町の広報紙の「ふるさと探訪」のコーナーで紹介している。文化財一覧表はある。町長 合併して10年経ち、やはり文化というのが大切になってきている。近隣市町と連携して、日本遺産へのエントリーを、今考えている。日本遺産として選ばれば、文化や地域振興が深まり、ブランドとしてい

【その他の質問】
「災害時の備蓄等の周知は」
「議会と語ろう会を踏まえて」

ろいなる方に生かしてもらおうことにもつながると思う。
要望 町民福祉向上の政策として、生活保護世帯約40世帯、就学援助40人へ援助強化すべきである。日本の国たる者は、金銭的な面で平等なる教育を受けられる機会に支障があるようでは、恥ずかしい国となる。将来を背負う子どもたちに、生活環境・学費援助などの強化を要望する。

傍聴にお越しく下さい

3月定例会 生中継 (予定)

- 2月27日(月) 10時～ [本会議]
- 3月 6日(月) 7日(火) 8日(水) 10時～ [一般質問]
- 3月 9日(木) 10日(金) 13日(月) 9時～ [予算決算常任委員会]
- 3月 21日(火) 10時～ [予備日]22日(水) [本会議]

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。 ★エレベーター完備

問 昼間、ひとり暮らし高齢者の対策は

答 知識と経験で活躍できるまちづくり



集い憩う高齢者

問 日中一人になつてしまう高齢者の現状についての対策は。
福祉保健課長 全世帯に緊急情報カードの設置。65歳以上の単身者や身障1・2級の単身者に電話回線を利用した緊急通報装置の貸与。軽度生活援助事業で月2回、配食サービスで週3回の見守りを

実施。ふれあいサロンへの勧誘や老人センターの利用の啓発。
問 以前、宅老所新設計画があったように記憶しているが、その後の経過と宅老所についての考えは。
町長 高齢化が進むなかで必要な施設と認識。本町でも人口の30%弱の方が65歳以上なので、活躍して町の発展に協力していただきたい。活躍することで孤独感を感じない環境にしたい。
福祉保健課長 宅老所の計画は無い。民間業者に期待。



長岡千恵子 議員

問 永平寺口駅周辺整備計画は

答 関係者に説明し事業化手続きへ



長谷川治人 議員

問 永平寺口駅東側から中部縦貫自動車道永平寺インターチェンジ(1C)付近、国道364号谷口バイパスへの接続にかかるとの現状とその事業採択後のスケジュールを聞く。
建設課長 永平寺口駅



新踏切計画 (永平寺口駅東側)

西側既存踏切を移設し、東側への移設計画についてご理解得るべく地元説明会を行っている。また、国道364号への連絡は、関係区、地元地権者等のご理解を得た上で決定していく。ご理解後、事業採択後の事業期間としては5〜6年を予定。

問 本町の幼稚園・幼児園は公立である。宅老所を民間にこだわるのはいかがなものか。幼稚園や幼児園に併設することも可能ではないか。

福祉保健課長 参考にする。
町長 大先輩方の知識と経験を生かして活躍できるまちづくりを推進していく。

【その他の質問】
「障害者地域生活支援の拠点整備は」
「給食費無償の予算を奨学金制度へ」

区民が集う拠点として観光交流の場として幅広い活用が望ましい。内部利用について問う。
町長 永平寺口駅前が活発になればなるほど

レンガ館内部利用についての声をよく聞く。しかし、この復旧は耐震補強でないため内部には入れない状況だ。国庫補助金受けての工事のため、簡単に目的

を変えられない。その中で何か有利な補助がないか、常々情報収集している。

問 国の登録有形文化財であるレンガ館は、

問 高齢者の運転免許証 自主返納を

答 健康長寿クラブ等で周知を



多田 憲治 議員

問 高齢者の高速自動車道での逆走行等の交通事故がマスコミ新聞等でよく報道されていた矢先、先日、本町でも高齢者運転の死亡事故が発生した。以前から全国での、高齢者事故には永平寺町の対応策が気になっていた。

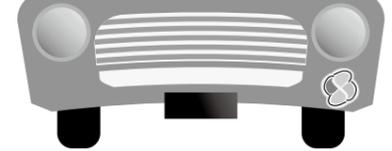
答 町内後期高齢者75歳以上の免許証所有者数は、町内でも団塊の層がこれから高齢化に突入するが、高齢者の交通



高齢運転者標識

事故を未然に防ぐ対策として福井市をはじめ全国ではいろんな取り組みが行われている。第3の犠牲者をなくすためにも行政が今のうち対策を講じて置かなければならない。

問 コミュニティバスの運行についても高齢者の意見も取り入れ利用増も検討したかどうか。また、「禅の里温泉」の年間何枚かの入場券配布等の検討も視野に免許証返納制度の後押し施策を図れないのか。



【その他の質問】
「第二の山口茜選手誕生の期待策を」

を貸出し、自分の弱点を分析し事故を未然に防ぐ方策も実施している。また、貸出については今後、健康長寿クラブ等で周知を図りたい。

していく。地域が生き残るには、外からの投資をいかに呼び込むかが課題となっている。

町長 進出する企業に永平寺町を選択していただくかねばならない。

それには本町で商売をするに付加価値がつくような、ブランドづくりが大切と考える。立地条件等のPRだけでなく、町の事業をマスコミ等に取り上げてい

ただ情報発信には今後力を入れていきたい。

【その他の質問】
「国体での北電体育館駅の仮設を」

の模擬訓練を実施しては。

問 住みたくなる町の実現に向けて

答 子育てしやすい優しい町を一番に



小畑 博 議員

問 町は「まち・ひと・しごと創世総合戦略」を策定、それは住みたくなる町の実現を目指すもので基本目標Iでは、平成52年までは人口1万9千人程度の維持をしたいとある。さらに基本目標IIIでは、町への新しい人の流れをつくり子育て世代の転入・転出を均衡させるとしているが、転入増は考えないのか。



元気に走る子どもたち

総合政策課長 本町は平成15年から転出超過が続いている。しかし若者の定住に対する支援や保育料を低料金にするなど、子育て環境整備に重点を置いて

総合政策課長 福井銀行・福井労働局・福井県立大学と連携協定を結び産業振興や安定雇用の創出を図りたい。今後、商工会や日本政策金融公庫とも連携を

問 基本目標IIでは、地域資源を生かした安定的な雇用を創出するとしているが、企業誘致と雇用どう図るのか。

おり、子育てができる優しい町を全面に出している。子育て世代のニーズを把握しながら転入・転出を均衡させてい

問 自主防災連絡協議会の体制と助成

答 防災意識の向上



中村 勲太郎 議員

問 連絡協議会の地域間の連絡と役割をどう考える。

町長 地域間の連絡・情報交換は大変重要。12月に、連絡協議会のリーダーさんと会合を設定し、来年につなげる。

問 各連絡協議会への助成金4万円は、訓練等に要した費用の領収書を添え申告し、後払いとなっている。新年度の4月に見直しできないか。



自主防災連絡協議会との「議会と語ろう会」

問 避難所は、女性の力が不可欠で避難所の食事の配給、施設の清掃・衛生面とか多種多技に必要とされるが、本町の女性の方の防災士の取得状況は。

町長 8ブロックの皆さんが、情報を共有し防災意識の向上を、積極的に進める。

総務課長 昨年は5名の方でしたが、今年

問 災害時の行政の対応は

答 過去の大災害の教訓に学びたい



金元 直栄 議員

問 災害時の対応で「自助・共助・公助」と町は言うが、この言葉、福祉の分野では、行政に頼るな…と言うこと。災害時、町は全力で対応するが住民も共に協力してもらいたいと言っている方を変えませんか。

町長 「何でも行政に任せて」や「やります」は無責任というところで自助・共助・公助

問 災害時の対応と役割を訴えている。役場、消防、消防団の役割を示し、住民に安心していただけるような説明を行う。

問 災害時への対応に目がいきがちだが、行政の対策・対応次第では、震災の程度や災害後の復興に大きな差が生じる。①巨大災害への備え。②巨大災害時の対応。③復興に向けた、災害後の対応と区



防災訓練

別し、これまでの大災害の教訓から、町は学んでいるのか。

総務課長 巨大災害への備えでは、災害に強い基盤づくりが第一で、防災体制づくりと

して自主防災組織の育成と人づくりを大事にしている。第二は、巨大災害時、当町のみでの対応が困難であれば、県や自衛隊への要請を行いました、他自治

体との相互応援協定も19件結んでいる。復興に向けては、ライフラインの早急な復旧や仮設住宅、避難所の確保など、検討しているところだ。

問 巨大災害については、各種レポートがまとめられ、報告されている。これら教訓に学んでもらいたい。

総務課長 多くの検証レポートに学んでいきたい。

【その他の質問】
「大学病院周辺のクラス対策として、捕獲檻の設置を」「町の各種福祉関係計画には、社協から現場の声を」

問 発達障がいの子が何人いるか

答 小中校で98名把握している



酒井 要 議員

問 通級指導という個別指導について聞いたところ、漢字や数字が書けないという子どもがいる。別の教室での個別指導をしていると思うが。

教育長 通級相当の子どもについては、毎年ある就学指導委員会の中で、その子どもさんの性格や特徴などを保護者の方と相談している。そして就学指導委員会のほうで通級相当かどうか認定がされれば、特別に教師を充て、何時間目に、どの教科だけこういう指導をしまし



ようと、丁寧に対応している。

問 永平寺町内に98名の発達障がいの子がいる。大変これは厳しいと思うが、障害の過程というのは、3通りあると聞いたが。

教育長 98名と言いましたが、全てとは定かではないと考えている。この子は発達障がいだからダメとか、何も一緒にできないという意識は持って欲しくない。やはりみんなと一緒にできるし、たま

問 食文化に関する条例の今後の課題

答 ブランド化に結びつけ発信



朝井 征一郎 議員

問 合併10周年記念の平成28年2月13日に施行された「永平寺町の食文化に関する条例」による具体的な取り組みは。

商工観光課長 町商工会、町観光物産協会など、関連事業者ともに連携を図りながら、会議やイベントにおいて食文化の普及、浸透に努めている。食文化に



いただきますキャンペーンのポスター

観光課、農林課、総合政策課、この3課で、この条例としてしっかりと結びつけて発信していきたい。

関することを周知するためにもポスターを作成し、町民のみならず情報発信している。農林課長 町の広報紙において永平寺町の食文化に関する情報発信している。町としては永平寺町の安心で安全な特産物を、ふるさと物産市や伝承料理の講習会を地域・学校などで開催し、情報発信に努めている。

問 町民、町および事業者の役割を図り、食文化の持続的な発展に寄与することを目的とする。具体的な役割、町も関連事業者の方々にも取り組みが見えて

【その他の質問】
「上志比支所に図書館を」

問 民間住宅の耐震化の促進は

答 相談会の開催、戸別訪問の実施



川崎 直文 議員

問 「永平寺町建築物耐震改修促進計画」(平成28年4月改定)で、民間住宅の耐震化率を平成32年度に90%としている。現状のままで推移すると平成32年の耐震化率は77.8%。このかい離についてどのように捉えているか。

建設課長 地震に対する危機感が薄く、耐震化が身近で重要な課題

であることの認識不足がある。そして、耐震改修費用の負担が大きいく改修工事に踏み切れないことがある。これらを解消し目標を達成しなければならぬ。

問 平成28年度の取り組みは。

建設課長 町の「木造住宅(古民家)耐震診断等および耐震改修促進事業」を各地区の



昭和23年6月 福井地震

防災訓練・地域防災講座、文化祭等で説明している。29年1月には住宅耐震化無料相談会を町内3会場で開催する。

各地での説明による事業促進により、「耐震診断・補強プラン作成」の応募件数が増

え、当初予算の10戸に加え、20戸分の補正予算を計上した。

問 耐震化90%の達成には860戸の耐震化を促進しなければならぬ。

各年度の耐震化率の目標を設定し、必達で取り組むべき。

建設課長 行動計画で、各年次目標を明確にする。

戸別訪問、電話での聞き取り等を重点施策とする。施策の取り組みの中で、リフォームで耐震化の実施等を含めて耐震改修件数を把握し、次年度の数値目標を

木造住宅耐震化促進事業(耐震診断等) 平成29年1月31日〆切

- 本町からの委託を受けた福井県木造住宅耐震診断士が、住宅の耐震性を診断します。
- 耐震性が不十分な場合、具体的な耐震補強方法や換算の費用などの簡単な補強プランを作成します。
- 耐震診断・補強プラン作成は、セットでの申込みになります。

【個人負担額】1万円(10万円の内、9割補助!!)

【申込みのできる方】

- 昭和56年5月以前に着工された一戸建て木造住宅に居住するために所有している方
- そのほか、要綱で定める要件を満たす方

【その他の質問】
「再生可能エネルギー導入推進事業は」

掲げ、促進する。

解決する住民主体の町づくりを進める。

教育長 社会教育は人と人の繋がり、仲間作りが一番と思う。みんな協力し何かをしよう、区の問題は何かを考え

る、そういう場を作る手助けをするなど地域を基

【その他の質問】
「環境課題の第一歩はゴミの減量化と資源化の新たな取り組みが必要」「こしの国CATV移

譲の説明会の開催を要求する」「学校の地域体験の成功は地元への支援体制が不可欠」

盤とする活動を進めていく。

集は、いつから開始するのか。

国体推進課長 募集要項を策定し、来年2月1日からボランティアの一般募集を開始したい。町体協、体振、社

協など各種団体へ協力をお願いし、ボランティアの人員確保に努めていきたい。

問 国体の周知不足との声もあるが、現在の広報活動は。

国体推進課長 庁舎内の電話保留音を国体ソングに変え、工事中の看板も国体PR用に変更する等全庁挙げて取り組んでいる。

問 住民主体のまちづくりは社会教育

答 地域コミュニティ作りを基本に



上田 誠 議員

問 住民主体の住みたくなる、住んでいくの基盤には、社会教育が必要。住民自らが話し合う中で課題を見つけて、解決に向けて行動する力の意識付けをするためにも必要である。町長公約の中に住民の主体となる仕組みづくりとあるが。

町長 行政指導でなく住民が積極的に取り組むことで行政が黒子に徹し住民が引っ張っていく。人と人を結び付けたら、他の地域と町が結びつくプロデュース的な役目をし、住民が主体となるまちづくりにしていきたい。



地域コミュニティ活動

問 自分たちの住むところを良くするため、話し合い、課題を見つけて、どうするかを決め、実践する仕組み作りをする意識に立ってもらう過程が、社会教育だと思ふ。住民活動、住民自治についてのノウハウを常に示し、語りかけ、住民主体で一緒に進める体制(公民館活動)の方向を示し、支援し続けることが必要と考えるが。

町長 一番大切である地域コミュニティ作りを進め、社会教育、公民館、防災、振興会、子育て、教育など多方面から人と人の繋がりや、課題

問 国体に向けた取り組みの現状は

答 全庁挙げて取り組んでいる



江守 勲 議員

問 プレ大会まで1年を切ったが、各種計画や要綱の策定状況は。

国体推進課長 今年度中に素案を検討し、年度末に開催予定の各専門委員会にて策定予定。

問 大会中、1会場に何台のバスや車両が来るのか。

国体推進課長 バスケ、ソフトボール会場は、バス8台、車両300台。ハンドボール会場は、バス14台、車両300台。ソフトボール会場は、バス10台、車両600台を見込んでいる。

問 現在、駐車場の確保はできているのか。

国体推進課長 最終的にはグラウンドを使用

する方向で考えているので、十分足りると考えている。

問 グラウンドの使用とあるが、大型バスなどの駐車場にすると影響はないのか。

国体推進課長 グラウンドの使用は、極力避けたい。また、グラウンドには、バスの駐車はせず普通乗用車だけとし、使用する時は、普段使用していない所から駐車するよう考



いわて国体でのボランティア風景

問 高齢者ドライバーの事故対策

答 健康ポイント制度は実施しているが...



滝波登喜男議員

問 本町の75歳以上の高齢者のうち、3人に1人は免許を持っていて、今、社会問題となっている高齢者ドライバー事故の対策は、車に依存しない町づくりである。国は、全国6ヶ所で健康ポイント制度の実証実験をしている。健康のために歩けばポイントが貯まり、豪華賞品が当たるといふもの。その効果は、

答 医療費抑制や地域経済に付与する。導入の検討を。
福祉保健課長 健康ポイント制度は保健センターで取り組んでいるが、賞品は粗品程度のもので、歩く事は健康にいいと分かっているが、なかなか継続することは難しい。

問 免許返納は社協や警察と連携し「返納の日」を設けてはどうか。供養式や家族が感謝を述べ、ささやかなパーティーをし、気持ちよく返納できる仕組みをつくることは、

答 ちよく返納できる仕組みをつくることは、
総務課長 家族が感謝を述べて返納していただくことは、本当にいい話で、高齢者の家族に積極

「免許返納の日」の制定を

問 コミュニティバスは高齢者の足として有益であるが、1〜2時間に1便では行政のアリバイ作りと言わざるを得ない。路線をもっと簡素にし、停留所まで歩いていただくことで、便数を増やされるのではないか。27年

町長 コミュニティバスは利用者が少ない。えち鉄もある町なので、歩くということ



コミュニティバス

で、歩くということ根付かせたい。取り組みを研究していく。

的に進めていただきたいと思う。
【その他の質問】
 「中部縦貫自動車道 永平寺〜大野間開通」の効果及び課題は」

問 えち鉄駅の利便性とバリアフリー

答 駅周辺用地調査・県条例適合協議



奥野 正司 議員

問 えち鉄は乗客目線のサービスと安全を提供し年々利用客拡大。昨年度は345万人と過去最高。本町内11駅乗降客も76万人と回復。地方創生町づくり構想で、鉄道の走る町の強みをどう生かすか。
総合政策課長 鉄道が走っていることは、交通弱者から見ても、また、交通手段の機会からも、大きな強みである。地方創生総合戦略でも人口減少の歯止めになり、イベント等賑わいや地域活性化に繋がる。



年間22万人利用の観音町駅

問 27年度の利用客上位3駅は観音町21万4千人、松岡16万3千人、永平寺16万1千人。パーク&ライド施設は観音町20、永平寺口94、山王25、竹原21台。平均利用率先月平日中36%、内観音町駅は常時満車状態15〜136%。本駅周辺エリアの持つエネルギーとダイナミックさを本町創生に生かすべき。本駅の状況把握と対策やいかがか。
総務課長 日中常時満車状態で、観音町駅利用者への利便性低下は承知。クルマに頼り過ぎない社会づくり推進事業補助金活用を視野に駅周辺用地を調査す

町長 未来会議の松岡駅パーク&ライド構想とも併せて研究したい。
問 本町でもバリアフリー駅実現の車いす利用者への声あり。共生社

会実現に向けた駅のバリアフリー対応は。
総務課長 現状バリアフリー化駅は無。未来会議で階段昇降機の提案もあり課題を検証する。県の福祉のまちづ

くり条例に適合するよう、えち鉄と協議する。
【その他の質問】
 「AEDのコンビニ配備」「ふるさと納税の活用法」

配属され、保育に関し指導が強化出来た。保育士の研修は、各園の園長、主任保育士および主任教諭、各年齢クラス担任が定期的に研修を実施している。

外部への研修にも参加させ育成している。
問 各部署で初歩的なことから専門的なところまでしっかりと指導され、その中で人間性も生まれていると思

う。今後もしっかりと指導、育成に努力願いたい。
【その他の質問】
 「えち鉄志比堺駅周辺の危険箇所解消について」

問 役場職員の人材育成はどのように

答 専門性を高めた職員育成



楽間 薫 議員

問 町長の掲げる強い永平寺町づくりに、役場職員の方の人材育成は欠かせないと思う。そこで本町では新人職員の人材育成はどのように行われているのか。
総務課長 県の自治研修所で研修し自治行政に関する基礎的なものを身に付け、その折、他の市、町の職員との人間関係も作って。あとは配属された部署で報告、連絡、相談など基礎的なことから専門的なことを上司から指導を受ける。



職員の研修風景

専門性を高めた職員を育成している。
子育て支援課長 保育士の人材育成について、今年度より園長経験者が課長補佐として

税務課長 税務課職員は、質問検査権や、自力執行権など一般公務員より強い職務権限が与えられているため、重い罰則が法令により定められていて法令遵守を第一に法令知識の幅広い習得や税務調査や滞納処分スキルやノウハウの指導をベテラン職員が指導し、専

高齢者が安心して暮らせるまちづくり

with 社会福祉協議会

問 ホームヘルプやデイサービス、生活支援などを通して、高齢者の実態は。

社協 現状としては、介護保険利用者が多い。介護保険対象外の利用は社協独自で対応している。介護保険対象外の利用者は13人で、延べ利用は21件。サービスの内容は、主に通院することに使われている。料金は、最初の30分が1,000円。その後の延長は30分ごとに1,000円。課題は、介護の必要な人が増加する中で、ヘルパーの人材確保が難しい。

問 高齢者及び介護の必要な人も増加している。現実に介護サービスが受けられない人も多いのでは。

社協 要支援1・2の人は介護保険で利用できることが少ない。介護保険以上の事はできないので、情報を共有して各課で分担してサービスを提供している。近所の見守りも活用。

問 要介護の高い人はそれなりにサービスを受けられるが、要介護の低い人や要支援の人は、サービスを受けることが難しい。家族が同居していても日中は働きに出て留守だったり、特に独居の人はサービスを受けることが難しい。対応はどうしているのか実地も含めて。

社協 永平寺町では、一人暮らしが510人いる。歳末におせちを宅配している。その内、支援が必要な人が230人いる。民生委員や福祉委員の情報提供として「買い物ができない」「ゴミ出しができない」などがある。福祉サービス利用援助事業には、給食や外出支援事業があり上限月10,000円。

問 総合支援事業への移行が平成29年4月に行われるが、その課題は。

社協 限られたものであったが、多様なものにする。憩いの場やサロンの活用も期待されているが、まだできていない。要支援の人は自分でできることも多いので、自宅の近くで過ごすことが大切。12月には、担い手としてシルバー人材や商工会のメンバーに協議会の委員になってもらい、サービスについて検討した

町民の声を
議会へ

ダイジェスト版

議会と語る会

(※ 質疑内容抜粋)

平成28年10月28日 31日 11月1日 実施

町民からの質問・要望等への回答

今回の議会と語る会は、各常任委員会でテーマを設け、町内の各種団体との専門的な意見交換を通し、新たな行政提言につなげることを目的として開催しました。

い。元気な高齢者に協力願いたい。

問 平成29年4月には、順調に事業が進められるのか。高齢者の生活に合わせたサービスが必要。社協にお任せになるのではないか。介護保険対象になる前の人を対象とするので、不安になることはないのか。

社協 事業所に対する説明は、11月25日に実施予定。その際にサービス単価が示される。精神障がいが増加している。コミュニケーションもとりにくい。高齢者と高齢者を介護している人も対象となることがあるので、対応が非常に難しい。研修会も実施している。町の保健師と連携を深めたい。ソーシャルワーカーとしての相談員が必要。人材確保が重要。

問 総合事業では、支援を必要とする人の家族は



不安である。社協と地域の体制が対応できている。地域のサロンは社協との連携が必要。その対応は。

社協 サロンは当初必要な所にあったが、現在は予防事業として運営している。サロンのお世話が特定の人の負担になることが多い。認知症の予防策になっているので区の助けが必要。自主運営できていないサロンには指導する。

問 地域包括ケアシステムの確立に向けての課題は。

社協 担い手が不足している。介護にならないための事業を進める。1次予防は健康な高齢者が対象。2次予防は虚弱な高齢者が対象。とりかかる区が少ないので、介護予防事業が拡大しない。拠点を広げていきたい。

問 地域包括ケアシステムの構築に向けて、多職種合同研修会開催していると資料にあるが、現状の課題は。

社協 本町には福井大学病院があるため、高齢者の在宅ケアを大学病院に依存している人が多い。本質的に大学病院は高齢者の在宅ケアとは機能が異なる。本町の在宅ケアを行うという点で医療機関が不足している。訪問看護も24時間体制の事業所は1事業所のみである。サービスが整っていない。本町は病院も訪問看護も遅れている。

※今回の教育民生常任委員会担当の議会と語る会は、福祉に関する疑問を議会が社協に投げかけて回答をいただきました。

農業の将来施策を考える

with 認定農業者

問 農業の担い手をめぐる現状について農業の将来施策は。

議会 国においては担い手育成・確保を図る観点から「認定農業者」や「集落営農」など育成すべき担い手を明確にして支援措置を集中化、重点化し新規就農対策を実施し、担い手後継者に対する補助をしている。

問 担い手育成および農業経営規模の向上維持のために農業機械の導入に関してはどうか。

議会 担い手農業者を対象とした県の補助要件に満たない水稲用機械、トラクター、田植え機、コンバインの導入更新費用のうち町が100万円を上限として3分の1の補助をしている。

問 地産地消の推進、地域振興作物、推奨作物の消費拡大、面積拡大、栽培技術の向上についてはどうか。

議会 生産組織に対して助成し、30万円を上限として2分1の補助を、農産物等を出荷する生産者への支援、出荷組合への育成のため直売所や道の駅等の出荷組合に加入している生産者に対して売上高の2%の補助をしている。その他にも担い手集積補助や農業者に対して地域振興作物、推奨作物への補助も行っている。

※産業建設常任委員会として、みなさまからいただいた貴重なご意見・課題を行政に伝えます。



※紙面の都合上、掲載できなかった質疑内容・回答はホームページほか、役場本庁・永平寺支所・上志比支所でご覧いただく予定です。今しばらくお待ちください。

永平寺町議会

検索



議会行財政改革特別委員会報告

副委員長 奥野 正司

議員定数14人体制後の委員会を考える
…その後の委員会討議状況

- 7月26日 2常任委員会案を説明討議。半年かけて討議し結論を出すこととする。
- 9月23日 2委員会、3委員会、本会議中心主義の3グループを結成し検討。
- 10月20日 2委員会、3委員会、本会議中心主義の3グループリーダーが各案の問題点等を報告。
視察先を竜王町（2常任委員会）、勝浦町（本会議主義・読会制・通年会期制）に絞り、視察時の質問事項を各自準備する。
- 11月11日 委員会中心主義、本会議中心主義について、県町村議会議長会より講師を招き議員研修会開催。
- 11月16～17日 滋賀県竜王町、徳島県勝浦町を議会視察。
- 12月20日 視察レポートを各委員が提出し、委員長が取りまとめ報告。
- 1月以降、本町議会改革への適合性を討議し、3月に向けて一定の方向性を出したい。

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2017年2月3日(金)～2月7日(火)

時	2月3日(金)	2月4日(土)	2月5日(日)	2月6日(月)	2月7日(火)	時
8	00 11月4日 臨時議会 34 文字告知放送	00 12月6日 一般質問③ 川崎直文議員 奥野正司議員	00 12月5日 一般質問② 長谷川治人議員 上坂久則議員 小畑傳議員	00 12月8日 予算決算常任委員会	00 12月6日 一般質問① 酒井要議員 朝井征一郎議員 金元直栄議員	8
9	00 11月25日 開会		53 文字告知放送	59 文字告知放送	50 文字告知放送	9
10	01 文字告知放送	03 文字告知放送	00 12月5日 一般質問③ 中村勘太郎議員 多田憲治議員	00 12月14日 本会議 35 文字告知放送	00 12月6日 一般質問② 金元直栄議員 上田誠議員 江守勲議員	10
11	00 12月5日 一般質問① 川治孝行議員 長岡千恵子議員	00 12月7日 一般質問 滝波登喜男議員 楽間薫議員	42 文字告知放送	29 文字告知放送	56 文字告知放送	11
12		38 文字告知放送	00 12月6日 一般質問① 酒井要議員 朝井征一郎議員 金元直栄議員	00 11月4日 臨時議会 34 文字告知放送	00 12月6日 一般質問③ 川崎直文議員 奥野正司議員	12
13	01 文字告知放送	00 12月8日 予算決算常任委員会	50 文字告知放送	00 11月25日 開会		13
14	00 12月5日 一般質問② 長谷川治人議員 上坂久則議員 小畑傳議員	59 文字告知放送	00 12月6日 一般質問② 金元直栄議員 上田誠議員 江守勲議員	01 文字告知放送	03 文字告知放送	14
15	53 文字告知放送	00 12月14日 本会議	56 文字告知放送	00 12月5日 一般質問① 川治孝行議員 長岡千恵子議員	00 12月7日 一般質問 滝波登喜男議員 楽間薫議員	15
16	00 12月5日 一般質問③ 中村勘太郎議員 多田憲治議員	00 12月20日 臨時議会 29 文字告知放送	00 12月6日 一般質問③ 川崎直文議員 奥野正司議員		38 文字告知放送	16
17	42 文字告知放送	00 11月4日 臨時議会 34 文字告知放送		01 文字告知放送	00 12月8日 予算決算常任委員会	17
18	00 12月6日 一般質問① 酒井要議員 朝井征一郎議員 金元直栄議員	00 11月25日 開会	03 文字告知放送	00 12月5日 一般質問② 長谷川治人議員 上坂久則議員 小畑傳議員	59 文字告知放送	18
19	50 文字告知放送	01 文字告知放送	00 12月7日 一般質問 滝波登喜男議員 楽間薫議員	53 文字告知放送	00 12月14日 本会議 35 文字告知放送	19
20	00 12月6日 一般質問② 金元直栄議員 上田誠議員 江守勲議員	00 12月5日 一般質問① 川治孝行議員 長岡千恵子議員	38 文字告知放送	00 12月5日 一般質問③ 中村勘太郎議員 多田憲治議員	00 12月20日 臨時議会 29 文字告知放送	20
21	56 文字告知放送			42 文字告知放送		21
22		01 文字告知放送				22

自主防災の充実を目指して

with 自主防災組織連絡協議会

- 問 これまで行政でやってくれた訓練を、地域自主防災連絡協議会で実施したが町職員の参加がなかった。自主防災組織に押し付けるのではなく、行政職員も町民と一体となって参加してほしい。
- 議会 今行政は、組織での自主的な災害対応を求め実施しています。いざ実災害ともなると、行政は多種多様な災害対応に追われ地域の対応は困難を極める。この訓練の趣旨を理解していただきたい。
- 問 災害時町職員は、ライフライン復旧等にかかりきりになるのでやむを得ないと思うが、ライフライン回復後の次の住民としての災害対応に対する、動向をターゲットにしての訓練内容にしたらどうか。当地区は最後の方に結成され、先に設立した訓練内容を知りたい。また、中学生の防災士取得も進めてほしい。
- 議会 災害対応は、大規模になればなるほど行政も地域住民も時間が長引けばパニックになりがち、対応に段階があると思うことから、そのような訓練を取り入れるのも大変重要と思う。

今回の会合で、連絡協議会のリーダーの顔も確認して頂けた。これを機に他組織とのコミュニケーションの場を広げ、訓練に取り組んでいただきたい。

また、防災士ですが、避難所の対応として中学生の協力も必要です。さらに、避難所では女性ならではの対応が求められ、町としても協議会としても大変重要と思います。

- 問 今回初めて訓練をしたが、何をしても費用が掛かる。組織には予算がないので役員が立て替えている。町からの助成金4万円を、年度初めに使えないのか。
各区長をリーダーとして、地域福祉委員会を組織している。各自治区から費用が出ている、そのような対応がなされていない地域もあるので把握し理解してほしい。
- 議会 行政にもいろいろな事情があるが、議会としても見直していただけるよう対応したい。
- 問 連絡協議会が活用する資機材（テント・発電機・投光器他）を町が負担してほしい。
- 議会 議会としても、最低限必要な資機材支給の対応をしていただけるよう求める。
- 問 避難準備情報の意味とか広報とかしてもほとんど住民は見ない。住民が理解できるようにすることから、考えていく必要がある。
- 議会 当然のこと。住民に周知するいろんな手法があると思う。ぜひ協議会からも意見を出し、みなさんからも行政に提案してください。
- 問 ここで出た意見を議員はきちんと行政に伝えてもらわねば、いくら言っても同じ。次回はきちんとした今回の意見の回答を求める。

※総務常任委員会として、みなさまからいただいた貴重なご意見・課題を行政に伝えます。

答えてみよう! 町議会クイズ

〈回答はP23下段にあります〉

- Q1 上志比地区地区に開発計画されている住宅造成地の区画数は。 ヒントは…P6
- Q2 町内の75歳以上の高齢者の運転免許証の所有者数は。 ヒントは…P11
- Q3 議会発議で策定された、食文化に関する条例の通称名は。 ヒントは…P12～13
- Q4 国体ボランティアの一般募集はいつからか。 ヒントは…P14～15
- Q5 耐震診断・補強プラン作成費用はセットで10万円。さて、補助割合は。 ヒントは…P15

議会・各委員会の議員出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退 一…員外 傍…傍聴 吊…吊事 研…研修

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑傳	上田誠	金元直栄	樂間薫	川崎直文	伊藤博夫	奥野正司	中村勲太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	齋藤則男	
12/20	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/14	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12/14	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/14	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/12	産業建設常任委員会	○	—	○	○	—	傍	—	—	—	○	—	—	傍	—	○	—	○	—	—
12/9	教育民生常任委員会	—	吊	—	—	×	傍	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
12/9	総務常任委員会	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○
12/8	予算決算常任委員会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/7	定例会(一般質問3日目)	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/6	定例会(一般質問2日目)	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/5	定例会(一般質問1日目)	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/1	議会運営委員会	—	×	—	○	—	○	傍	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12/1	議会広報特別委員会	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11/21	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11/21	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/11	教育民生常任委員会	—	○	—	—	×	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
11/11	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/7	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11/4	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/4	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/1	議会と語ろう会(教民)	—	○	—	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/31	議会と語ろう会(産建)	○	—	○	○	—	傍	傍	—	—	○	傍	傍	—	—	○	傍	○	傍	傍
10/28	議会と語ろう会(総務)	—	—	—	傍	—	○	傍	—	—	傍	○	○	○	○	○	傍	—	○	○
10/28	予算決算常任委員会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/27	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10/27	予算決算常任委員会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/24	産業建設常任委員会	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	—
10/24	教育民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
10/20	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/20	全員協議会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/13	予算決算常任委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/12	予算決算常任委員会	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
10/5	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	傍	—	—	—	○	×	○	—	—	—	—	○	傍
10/5	予算決算常任委員会	○	○	△	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
10/4	議会広報特別委員会	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—
9/29	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/28	議会広報特別委員会	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—
9/22	議会行財政改革特別委員会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/23	全員協議会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/21	予算決算常任委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/16	予算決算常任委員会	○	△	×	○	×	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/14	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	出席回数	22.5	29.5	25.5	37	21	36	30	28	28	29	29	33	34	33	27	31	26	26	
	会議回数	27	34	27	37	28	36	32	28	28	30	29	33	36	33	27	31	27	26	
	出席率	83%	87%	94%	100%	75%	100%	94%	100%	100%	97%	100%	100%	94%	100%	100%	100%	96%	100%	

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!

10/19 香川県琴平町議会 来町



香川県琴平町議会の議員ら6名が「議会基本条例」「議会と語ろう会」「予算審議」「議会だよりの編集」についての視察のため来町しました。

10/29 永平寺町文化祭

永平寺町文化祭に議員も足を運びました。役場職員とともに国体ダンスを披露した議員も!



10/21 永平寺町秋浪漫



永平寺の魅力を発信するお祭りイベント「永平寺町秋浪漫」が3日間開催され、永平寺口駅前でのオープニングでは、永平寺町の3蔵元の地酒で齋藤議長が乾杯の音頭をとりました。

12/20 毎年恒例! 大掃除

毎年恒例の議場の掃除を行いました。議員たちは今年1年の感謝を含め、1時間ほどかけて議場の机拭きやフロアの掃除機がけ、窓拭きを行いました。



本議会以外にも
活動中!

10/24 市町議会議員合同研修会

福井県市町議会議員合同研修会が開催され、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏より「期待される議会改革のあり方」について、フリーキャスターの伊藤聡子氏より「地域経済の活性化が、日本の元気を取り戻す」についての講演を聞きました。



11/11 委員会のあり方について研修



福井県町村議会議長の伊藤課長を講師に迎え「委員会のあり方(委員会中心主義と本会議中心主義)」についての議員研修会を行いました。

1/8 出初式・成人式

平成29年永平寺町消防出初式が上志比支所周辺で開催され、議員も出席。今年1年、災害のないことを祈念しました。

同日、永平寺町成人式が、上志比文化会館サンホールで開催され、議員14名も出席しました。この日は新成人229名が大人の仲間入りを果たしました。



町議会クイズの答え
① 9区画 ② 1007人 ③ いただきます カンパイ条例
④ 2017年2月 ⑤ 9割

福井国体出場をめざして

平成30年に福井しあわせ元気国体が開催されますが、わが永平寺町では松岡総合運動公園you meパークで成年女子のソフトボール競技が行われます。

ソフトボールを愛好し活動している私たちにとって、生まれ育ったこの永平寺町で国体が開催されることは夢のようで大変嬉しく楽しみにしております。

私たちは県内で唯一の革ボール（硬球）を使用する「福井フェニックス」というクラブチームに所属しています。昨年は例年より練習日を増やし、平日は週3回、週末は練習試合等を行い、冬場は日本リーグトップのトヨタ自動車やデンソーでの合同練習を取り入れ強化を図ってきました。

選手個々の置かれた環境も違う中で、平日は仕事終了後19時～22時までの短時間をして一人一人が自覚と課題を持って取り組み、週末は県外の実業団や大学などの強豪チームと試合を行い実践経験を積んでレベルアップに努めました。

その結果、昨年7月に行われた全日本クラブ選手権大会ではベスト16、8月の中日本大会では見事初優勝を飾ることができました。



練習はもちろんのことですが、仲間を思い仲間を信じ、そして勝利への執念を一人一人が持ちチーム一丸となって戦い抜いた結果が勝利につながったと思います。

一方では練習のためのグラウンド確保は大変苦勞が多く悩みの種ですが、永平寺町をはじめ他市町のご協力をいただいで活動ができましたこと深く感謝します。

国体に出場する選抜チームは、この「福井フェニックス」が主体となり県外の実業団や大学で活躍しているふるさと選手を含め結成されます。昨年のいわて国体では日頃の練習の成果を十分に発揮し、3位入賞を果たすことができました。これを弾みに来年の福井国体では、私たち地元選手が一人でも多く選抜チームの一員として、元気にプレーし活躍する姿を地域のみならずにお見せできるよう、意識を高く持ち今後も全力で頑張りたいと思います。
(藤尾かおり監督 記)

議長 齋藤則男
発行責任者 齋藤則男
副委員長 江守 勲
委員 長 小畑 傳
副委員長 江守 勲
朝井征一郎・樂間 薫
川崎 直文・奥野 正司
長岡千恵子

編集者のひと言
全国で進む人口減少、本町でも合併時の2万1千人から毎年減少が続きます(国立社人研推計・2040年17325人)。
町は現状1.4の合計特殊出生率の引上げや、現在転出が多い若年世代の転出減・転入増を主な手段として2060年に19000人程度の人口維持と同年度の国推計高齢化率40%を30%に抑える目標。永平寺町人口ビジョンを策定し、この実現に向け、育てる・働く・集まる・暮らす。まち・ひと・しごと創生総合戦略を進めています。
12月住基台帳では初めて世帯数も前年同月比減となり厳しい状況が続きます。持続可能な活力ある永平寺町実現に向け何が必要か、議員も切磋琢磨していきます。みなさまもご意見、声を議会へお寄せください。
(奥野 記)